

〈対策のポイント〉

熱帯林の持続可能な経営の促進と熱帯木材貿易の発展を図るため、「国際熱帯木材協定」に基づき設置された**国際熱帯木材機関（ITTO）**の活動を支援します。

〈政策目標〉

気候変動問題等地球的規模の課題への適切な対応を目指します。

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

本部事務局設置経費の拠出を通じてITTOの活動を支援

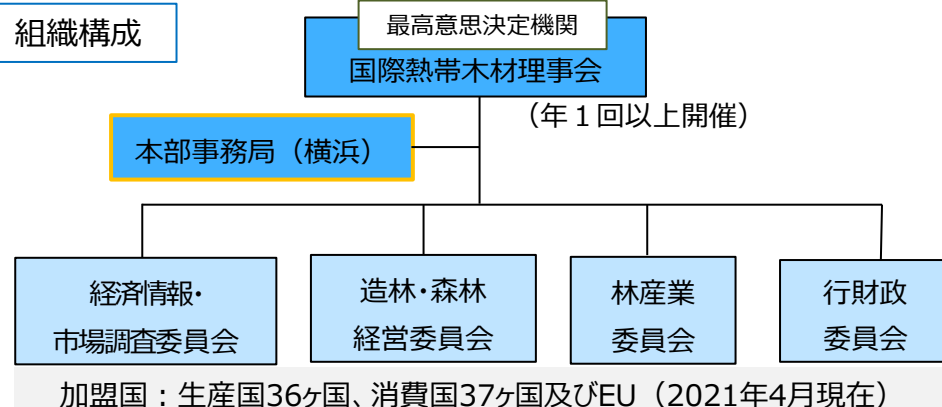
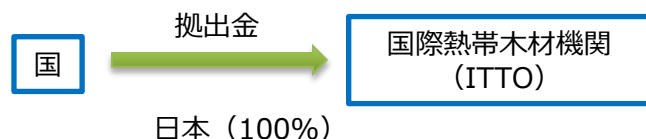
1. 背景・課題

- 国際熱帯木材機関（ITTO）は、1986年に、「国際熱帯木材協定」に基づき、熱帯林の持続可能な経営の促進と熱帯木材貿易の発展を図ることを目的として設立された国際機関です。本部は、横浜市に所在します。
- 地球規模での熱帯林の保全の必要性が国際的に指摘されている中、ITTOが持続可能な熱帯林経営の促進に向けて果たす役割は極めて重要です。

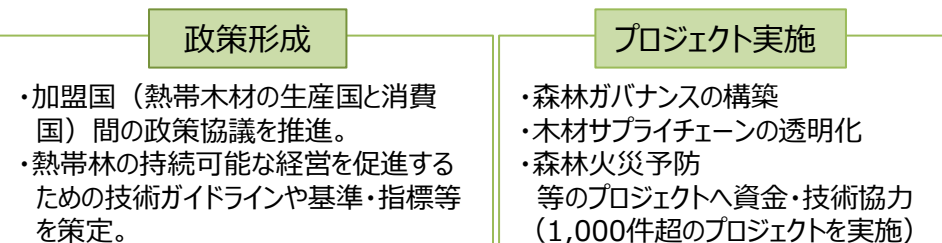
2. 事業の内容

- 我が国は、ITTOのホスト国として、熱帯林の保全に積極的に取り組む姿勢を示すため、ITTOと日本政府が締結した「日本国政府と国際熱帯木材機関との間の本部協定」（1988年）に基づき、ITTOの本部事務局設置経費を拠出します。

＜事業の流れ＞



活動・成果



【お問い合わせ先】 （1）輸出・国際局国際地域課 （03-3502-5913）
（2）林野庁木材利用課 （03-3502-8063）